

# 3月のできごと

## 薬物乱用は絶対にダメ！

3月6日 追分中学校で追分ライオンズクラブのメンバーが生徒を対象に薬物乱用防止に向けた講演会を行いました。

大麻使用が蔓延し社会問題になっている中、講師の堀喜代衛さんは覚せい剤などの薬物は脳に与えるダメージが大きく習慣化することを強調。麻薬撲滅に向けたビデオを放映した後、改めて子どもたちの薬物の乱用防止を呼びかけていました。



講師の堀喜代衛さん（写真右）

## 税のポスターコンクールで 胆振支庁長賞を受賞

北海道が主催する第23回全道中学生の税をテーマとしたポスターコンクールで清水恵里帆さん(追分中1年)が胆振支庁長賞を受賞し、3月5日に追分中学校で伝達式が行われました。



早来こぶし切り絵同好会の作品展示会が2月20日から3月6日までせいこどームのロビーで開催されました。  
アイスホッケーの練習などで来場した人たちが細かい手作業による力作を鑑賞。田園風景や季節感あふれる自然の描写など牧歌的な作風に感心しながら、気に入った作品の前で長く立ち止まって見つめる人もいました。

## 切り絵の細かい描写の作品を鑑賞



## 角界にももの申す

3月13日に追分公民館で文化講演会が行われました。講師は元小結の舞の海秀平さん。現役時代は小さい体にもかかわらず、多彩な技で相手を負かし人気があつた関取です。  
新弟子検査の時、規定の身長が足りないため頭部を手術してシリコンを入れて合格したエピソードを語り、巨漢力士との対戦についてユーモアを交えながらの解説に会場は大爆笑。  
日本の国技である相撲は神事と力説。力士の暴行事件や八百長疑惑など不祥事が続く角界ですが、大相撲の将来の発展に対してさまざまな提言を投げかけていました。



## カーン！ といい響き

3月14日しののめ交流館内ゲートボール場の完成を記念して40名ほどが参加し親睦交流会が行われました。

交流会の参加者は、近くに来たことで冬でも好きなだけゲートボールが楽しめるようになったこと、ゲートボールだけでなく、軽スポーツなどを通して高齢者やしょうがい者が子どもとの交流に最適ですと笑顔で話していました。

